

3 国民世論の啓発

返還要求運動の取組

北方領土の返還実現のためには、裾野の広い返還要求運動に粘り強く取り組み、幅広い国民世論を結集して、外交交渉を後押ししていくことが重要です。

内閣府北方対策本部での取組

- (独)北方領土問題対策協会と連携して、民間団体や各都道府県に設置されている都道府県民会議*等が全国各地で開催している大会、キャラバン、講演会、パネル展等の返還要求運動・啓発活動を支援しています。
*都道府県民会議…地域における北方領土返還要求運動の推進基盤となっている組織。
- 政府広報を始めとする多様な媒体を利用した広報・啓発を行っています。

毎年2月7日 北方領土の日

昭和56年1月の閣議了解により、毎年2月7日を「北方領土の日」と決めました。この日を中心として、北方領土返還要求全国大会を始め、各地で様々な事業が実施されています。なお、2月7日は、1855年に日露間の国境を択捉島とウルップ島の間で定めた日魯通好条約が調印された日です。



令和4年北方領土返還要求全国大会の様子
(東京・国立劇場)



岸田内閣総理大臣による挨拶



全国各地からオンラインで参加した元島民や中学生等

新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、全国各地をネットで結んで連携を図るとともに、無観客方式で開催し、YouTubeで配信しました。

啓発キャラクター

北方領土問題をわかりやすく説明するキャラクターとして登場。北方領土の周辺海域で生息する海鳥「エトピリカ」をモチーフにしています。



北方領土エリカちゃん

みんなに北方領土について知ってもらいたくて、生まれたんだっぴ！北方四島が大好きで、四島それぞれにエリカのお友達が住んでるっぴ！全国のイベントに参加したり、TwitterやFacebookでもイベント情報や北方四島に関する情報をみんなに発信してるっぴ！



択捉島 エリマルくん

くいしん坊の大食い。地元の食材を使った料理が得意。



色丹島 エリヨシくん

植物や鳥など自然の生態に詳しい。ナイーブでインドアなハカセタイプ。



国後島 エリオくん

エリカちゃんのボーイフレンドでアウトドア好きの登山家。



歯舞群島 エリナちゃん

エリカちゃんの親友で活発な女の子。地元漁師(カニ漁)の娘。

全国各地で行われている活動

昭和61年に根室市で開催された都道府県民会議全国会議において、毎年2月と8月が「北方領土返還運動全国強調月間」として設定されました。

強調月間を中心に、北方領土問題を知ってもらうため、全国各地で様々なイベントが行われています。



街頭啓発活動
(宮崎県)



令和3年「北方領土の日」記念大会
作文コンクール表彰式 (富山県)



着ぐるみのエリカちゃん、エリオくんは全国各地で開催されているイベントに登場し、一緒に啓発活動を行っています。着ぐるみは(独)北方領土問題対策協会により貸出しを行っています。



子ども霞が関見学デー
(東京・永田町)



北方領土パネル展2021
in Tokyo (東京・新宿駅)

全国各地でいろんなイベントを行ってるっぴ！内閣府北方対策本部のホームページにもイベントの情報を掲載しているっぴ〜♪

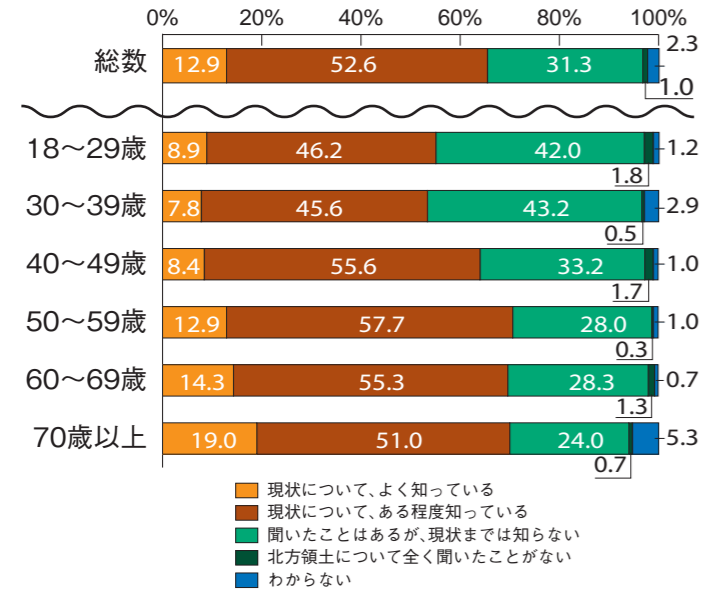


調査研究（世論調査、情報行動の変化）

北方領土問題に関するテーマを選定し、調査研究や世論調査を実施しています。

- 政府の「北方領土問題に関する世論調査」(平成30年度)では、「北方領土」という言葉を聞いたことがある人は96.7%に上る一方で、北方領土の現状について一定程度以上理解している人は7割弱(65.4%)にとどまり、また、若年層の認知度が相対的に低いことが判明しています。
- 潜在的な参加意欲まで含めると、3割程度の人に広報啓発活動への参加意欲があることが判明しています。
- 情報入手手段としてSNSが台頭しており、広報啓発活動についてSNSが効果的であるとの結果も出ています。

○北方領土の認知度



○広報啓発活動への参加意欲

積極的に参加したい、機会があれば参加したい、誘いがあれば参加しても良い、の合計値

18～29歳	29.6%
30～39歳	22.8%
40～49歳	25.8%
50～59歳	26.8%
60～69歳	23.4%
70歳以上	26.7%

○北方領土の情報入手手段

テレビ・ラジオ	88.4%
新聞	58.3%
学校の授業	25.4%
ホームページやインターネットのニュース	18.8%
本や雑誌などの出版物	16.1%
家族・知人	8.5%
広報・啓発刊行物（パンフレットやリーフレットなど）やポスター	5.7%
広報・啓発イベント	4.5%
SNS（Facebook、Twitter、Instagramなど）	4.3%
空港、街角などに設置されているモニターやビジョン	1.6%
その他	0.6%

○広報啓発活動の効果的な取組

新聞、テレビやラジオなどを用いた北方領土の問題についての広報・啓発の充実	59.2%
北方領土の問題についての学校教育の充実	42.9%
テレビや新聞で北方領土の問題について取り上げてもらうための取組	41.1%
ホームページやSNS（Facebook、Twitter、Instagramなど）を用いた北方領土の問題についての広報・啓発の充実	33.7%
元島民の体験談など、当事者の生の声が聞けるイベントの充実	29.5%
SNS（Facebook、Twitter、Instagramなど）上で北方領土に関する情報について取り上げてもらうための取組	21.8%
参加型の広報啓発活動に関する情報提供の充実	19.9%
イメージキャラクターやタレントなども活用した、気軽に参加できる広報啓発イベントの充実	10.4%
日頃から広報啓発活動をしている団体関係者や公的機関の代表者などが一同に会する大会の充実	9.1%

そのほか、内閣府北方対策本部では、以下のようなテーマで調査を行っています。

- ・ICTを活用した北方領土教育・学習に関する調査
- ・新たな時代における北方領土返還要求運動の在り方に関する調査
- ・北方領土問題に関する若年層向けの効果的な広報手法及び媒体調査 など

詳細については、内閣府北方対策本部HP (<https://www8.cao.go.jp/hoppo/>) をご覧ください。

若年層へのアプローチ

- 北方領土問題について、若年層の認知度が相対的に低くなっています。
- 情報入手手段として、特に若年層ではインターネットが中心となっています。

このような状況から

- 広く国民の関心と理解を得て国民運動を展開 → 特に若年層への働きかけが重要
- 効果的な情報発信 → 時代に適したツールの利用が重要

YouTube を活用した情報発信

人気YouTuberを起用して、北方領土隣接地域の食や自然など各地の魅力を体験しながら、目の前に広がる北方領土について学び、発信する動画を公開しています。



YouTuberが紹介する北方領土(羅臼町)



隣接地域の食材を集めた海鮮丼

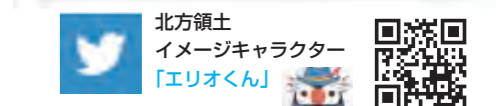
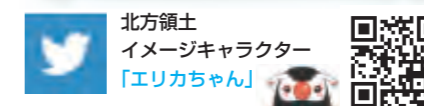
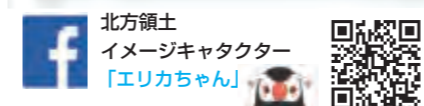
「ブレイクスルー佐々木」さんのYouTubeチャンネルにて公開しています。

動画はこちら→



SNS を活用した情報発信

イメージキャラクターのエリカちゃんとエリオくんが、Twitter等で北方領土に関する情報を発信しています。



佐々木さんの動画だけでなく、エリカやエリオくんのこともフォローしてほしいっぴ!



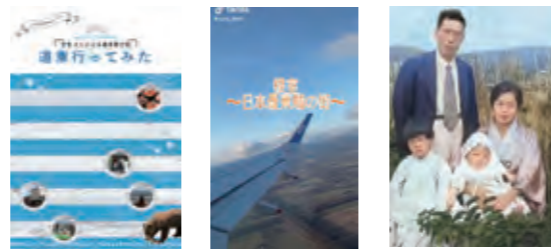
北方領土返還要求運動次世代育成プロジェクト

返還運動を担う次世代育成のためのプロジェクトとして、北方領土問題に関心のある若年層、元島民後継者、教育関係者等が議論するフォーラムを開催しました。

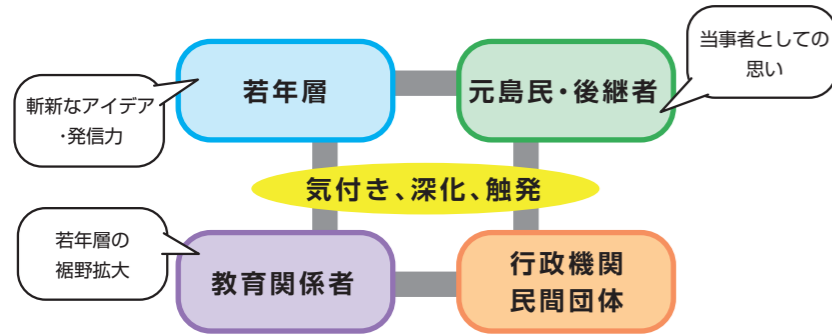
また、プロジェクトの一環として、若年層(高校生・大学生)によるグループワークも実施し、自らの提案により、隣接地域の魅力を伝える情報誌や短編動画の作成、元島民の方が所蔵する戦前の白黒写真のカラー化を行い、新たな返還運動の方策案の検討を行いました。



フォーラムの様子



グループワーク成果物



啓発用アニメーション『エトピリカ～思いを紡ぐ鳥～』

北方領土の元島民の証言を参考に、択捉島における当時の暮らし、ソ連軍が進駐してきた時の様子、引揚げを余儀なくされた悲しみ、そして、今もなお自由に帰ることができない現状や故郷への想いなどを描いた短編(24分)のアニメーションを制作、令和4年4月からYouTubeで公開しています。



子供でも見やすいアニメだから、たくさんの人に見てほしいんだな～



映画『ジョバンニの島』



平成26年2月、一般社団法人日本音楽事業者協会創立50周年記念作品として公開されました。北方領土の元島民であり、「語り部」として活躍されている得能宏さん(色丹島出身)の経験を踏まえた、色丹島が舞台のアニメーション映画です。

～映画を観た人の感想～

- ・とても心を動かされました。(20代女性)
- ・この映画が世に認知されることを願います。(20代男性)
- ・北方領土問題が誰にでもわかりやすい形で映像化されていた。(20代男性)

以下の上映会に対し、(独)北方領土問題対策協会が支援を行っています。

- ・北方領土返還要求運動都道府県民会議等が主催して行う非営利上映会
- ・青少年を対象として学校単位で開催する非営利上映会(北方領土問題教育者会議及び北方領土返還要求運動都道府県民会議を通じて行うもの)

北方領土に関する全国スピーチコンテスト

(独)北方領土問題対策協会では、北方領土問題に対して関心を持ち、正しく理解してもらうことを目的として、中学生を対象としたスピーチコンテストを実施しています。

<令和3年度 主な受賞者>

・北方対策担当大臣賞

西 悠伽さん 佐賀県唐津市立加唐中学校

・内閣府北方対策本部審議官賞

近藤 妃香さん 北海道根室市立光洋中学校

・独立行政法人北方領土問題対策協会理事長賞

中島 琴美さん 佐賀県みやき町立北茂安中学校



令和3年度 北方対策担当大臣賞を受賞した西さんによるスピーチの様子

北方青少年少女による総理表敬及び函館豆記者による取材活動

例年夏に、北方青少年少女による総理大臣表敬や函館豆記者による北方領土関係の取材が行われています。



北方青少年少女による総理大臣表敬

北方青少年少女とは

北方領土隣接地域(根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町)に在住する元島民の3世、4世等から選ばれた中学生です。

函館豆記者(函館豆記者交歓会)とは

五稜郭における北方領土啓発や、夏には内閣府北方対策本部を訪問して取材活動等を行っています。

教員・生徒等を対象とする研修や事業の周知

学校教育における北方領土教育の重要性に鑑み、内閣府から文部科学省に対して、教員及び生徒等を対象とする北方領土問題に関する研修や事業の趣旨の周知を依頼しています。

○北方領土問題地域青少年育成事業



第33回北方領土返還要求運動関東甲信越青少年交流会(群馬県)



第33回近畿ブロック青少年北方領土研修

○北方領土青少年等現地視察事業



納沙布岬から北方領土を視察



元島民からの講話

文部科学省に対する要請文書を通じて参加要請を行っている主な事業

((独)北方領土問題対策協会主催)

- ・北方領土問題教育委員会関係者現地研修会
- ・北方四島交流教育関係者・青少年訪問事業
- ・北方四島交流青少年受入事業
- ・北方領土に関する全国スピーチコンテスト
- ・北方領土に関する標語・キャッチコピー

(都道府県民会議主催)

- ・北方領土問題地域青少年育成事業
- ・北方領土問題教育指導者地域研修会
- ・北方領土青少年等現地視察事業